



## 粹な食文化を味わう。

和食からフレンチまで、唐津焼でいただく至福の食卓。

唐津焼は、唐津の暮らしに根付き、唐津文化を多彩に演出します。唐津を訪れる人が最も身近に唐津焼を楽しめる場所は、あちこちにある飲食店です。唐津の土から生まれた唐津焼に、唐津の自然に育まれた新鮮な食材の料理を盛りつける。同じ風土から生まれたもの同士、器と料理の相性はとてよく、お寿司などの和食のみならず、イタリアン、フレンチまで、多彩な唐津の食文化の中で唐津焼が彩りをそえています。ゆっくりと、自分好みのお店を訪ねて、味わい深い唐津焼でいただく至福の食卓を楽しんでみてください。また、唐津焼のぐい呑みはとて人気が高く、お気に入りのぐい呑みで唐津の地酒を楽しむのも粋でしょう。

- 唐津焼でお食事が楽しめる飲食店
- 鮎 源 (川魚料理) tel.0955-56-6926
  - 唐津迎賓館 (フレンチレストラン) tel.0955-58-9311
  - 川島豆腐店 (豆腐料理) tel.0955-72-2423
  - 櫻 (イタリアン) tel.0955-75-6455
  - 大八車 (居酒屋) tel.0955-73-0533
  - hanaはな家 (カフェ&ダイニング) tel.0955-74-2454
  - 花 菱 (日本料理) tel.0955-72-3311
  - やすけ 寿司 tel.0955-72-4366

**朝鮮唐津** 鉄分の多い鉄釉(黒釉(こくゆう)または鉛釉(あめゆう))と薬灰釉を上下・左右に分けて焼いたものを指します。鉄釉の黒と薬灰釉の白の美しいコントラスト、境界に生まれる青や紫、黄色などの繊細な色や流れ落ちる多彩な表情が特徴的で、表面に現れるその変化は自然の風景に見立てた「景色」を表現しています。景色を愛する茶陶の世界で重用されており、水指・花入れなど、茶器として多く用いられています。

**斑唐津** 薬灰(わらばい)などを混ぜた失透白濁する釉薬をかけたもので、粘土中の鉄分や蒸を炊く燃料である松の灰が溶け出し、乳白色の表面に青や黒の斑点がぼつぼつと現れることからそう呼ばれています。別名「白唐津」とも呼ばれています。唐津焼発祥の地とされる岸岳窯で16世紀に始まったと推測され、当時の斑唐津を再現しようとする現代の作家が挑戦を続けています。茶碗や猪口(ちよこ)に多く用いられています。

**三島** 器がまだ生乾きのうちに印花紋、線彫、雲鶴(うんかく)などの文様を施し、化粧土を塗った後、削りまたは拭き取り仕上げを行い、長石釉や木灰釉(きばいゆう)をかけて焼いたものを指します。象嵌(ぞうがん)の一種であり、唐津では江戸時代に生産が始まりました。朝鮮の李朝三島の技法を伝承したことから、三島と呼ばれています。茶碗などの茶器によく用いられ、日本の多くの産地にその類型を見ることができま。

**黒唐津** 鉄分を多く含んだ黒釉をかけて焼いたものを指します。鉄分を多く含む岩石を砕いて、土灰釉(どばいゆう)に混ぜたもの、胎土に鉄分が多く釉薬が黒みがるもの、鉄分の多い泥を化粧がけするものなど様々な技法があり、多くの窯で焼造されてきました。鉄分の量や酸化の度合いにより、藍色や棕色、黒褐色など幅広い色彩を生み出しますが、全て黒唐津と呼ばれています。ぐい呑みや皿、口皿として広く用いられています。

## カフェ文化を楽しむ。

カフェ・スイーツも、唐津焼で楽しむのが唐津スタイル。

唐津は隠れたスイーツの聖地。唐津を代表する名菓、茶道の世界で愛される和菓子、カステラやケーキ等の洋菓子と、多種多様なスイーツが唐津市のあちこちで楽しめます。そんなカフェ文化に華を添えるのが唐津焼。スタイルは異なれど、唐津焼で楽しめるところが唐津のカフェ・スイーツの魅力でもあります。それぞれのお店が、お気に入りの作家の器を使い、独自のセンスとアイデアで創意工夫をしています。ゆっくりカフェ巡りをしてみてはいかがでしょう。唐津流のカフェ文化、是非とも楽しんでみてください。

- 唐津焼でカフェ・スイーツが楽しめるお店
- 伊園けえん本家 (和菓子) tel.0955-56-6901
  - o d e c a f e (カフェバー) tel.0955-58-9112
  - 開花堂 (抹茶・和菓子) tel.0955-72-5750
  - 茶苑 海月 (抹茶・和菓子) tel.0955-82-4384
  - c a f f e Luna (カフェ) tel.080-2697-0497
  - Tea&Space 基幸庵 (ギャラリーカフェ) tel.0955-72-8188
  - たまごのケーキ屋さん (洋菓子) tel.0955-56-6802
  - n e u f (ペーカリーカフェ) tel.0955-73-7159

## 表情豊かな唐津焼。

長い歴史の中で受け継がれた匠の技と、現代作家による新たな感性が育んだ、

唐津焼の起源は諸説ありますが、室町時代末から桃山時代にかけて、岸岳城主波多氏の領地で焼かれたことが始まりとされています。その後、豊臣秀吉による朝鮮出兵の際に、朝鮮陶工を連れて帰り、その陶工たちが各地で窯場をつくり、焼き始めたことで、唐津焼の生産量は拡大してきます。

登り窯や蹴ロクロ、釉薬法など、朝鮮渡来の技術の導入によって作風や種類も豊かになり、全国に流通したことで唐津焼は日本を代表する焼物となり、西日本では焼物のことを「からつもの」と呼ぶほどまでに有名になりました。

また、古くから茶の世界では、「二井戸、二葉三唐津」という茶碗の格付けがあるように、茶の湯の名品として多くの茶人に愛され、江戸時代には唐津藩の御用窯として発展しました。その後、藩の庇護を失った唐津焼は衰退しますが、人間国宝の中里無庵が古唐津の技法を復活させ、勢いを取り戻しました。

現在は、70も窯元の窯元が唐津市内に点在しています。長い歴史の中で培われた先人の技を継承し、現代作家の新たな感性を取り入れることで、それぞれの窯元と独自の作風が生まれています。この伝統と革新の中で育まれた多彩な表情こそが、世界中のファンを虜にする唐津焼の魅力なのです。

## 佇まいに身を委ねる。

唐津焼の佇まいを五感で感じる、豊かな唐津時間。

海に面した旅館・ホテル、老舗旅館、料理旅館に温泉宿と、唐津には多種多様な宿泊のスタイルがあり、著名人や文化人も数多く宿泊しています。唐津焼が楽しめる施設として、旅館・ホテルほどに五感全てを満たしてくれる場所はないでしょう。エントランスを彩る壺や床の間の花入、客室の湯呑み、料理の器と、様々なシーンにおいて、唐津焼は豊かな佇まいを演出してくれます。作品の展示スペースを設けているお宿も多く、ゆっくりと唐津焼の世界に触れることができましょう。五感を研ぎ澄まして、ゆっくりと過ごす唐津時間。昼過ぎにチェックインし、美しい借景と唐津焼の佇まいに身を委ね、心ゆくまで贅沢なひとときを過ごしてみてください。

- 唐津焼の佇まいを味わえる旅館・ホテル
- 海 舟 tel.0955-72-8101
  - シーサイドホテル tel.0955-75-3300
  - 大 望 閣 tel.0955-82-1711
  - 長 崎 荘 tel.0955-72-2254
  - 渚館 きむら tel.0955-72-4617
  - 虹の松葉ホテル tel.0955-73-9111
  - 松の井旅館 tel.0955-72-8131
  - 水野旅館 tel.0955-72-6201
  - 都 荘 tel.0955-62-2413
  - 旅館 大政 tel.0955-72-4446
  - 旅館 錦屋 tel.0955-72-4181
  - ロイヤルホテル tel.0955-72-0111
  - 洋 々 閣 tel.0955-72-7181

## 作家の想いに触れるのが、唐津の新しい旅のカタチ。

唐津は、やきものの町。まちなかには、様々な作家の作品を扱う展示場や販売店・ギャラリーがたくさんあります。そこでお気に入りの作品が見つかったら、作家の窯元まで足を伸ばしてみようか。全国に知名度を誇る一流作家から若手作家まで、それぞれの作家が独自のスタイル、想いを持って作陶に挑んでおり、窯元はそのルーツとなる場所です。作家と出会い、作陶への想いや生き方に触れることで、手にする作品の見方も変わってきます。作家の数だけ、唐津焼の魅力があります。唐津の風土に根ざした唐津焼作家の想いや生き方に触れ、唐津独自の豊かな暮らしや文化を発見する。これが、唐津の新たな旅のカタチ。

## 作家の想いに触れる。

唐津焼が購入できる販売店

- 一番 館 tel.0955-73-0007
- うつわの店 陶夢 tel.090-4777-5086
- 唐津城売店 tel.0955-72-5697
- 唐津焼総合展示場 tel.0955-73-4888
- からつ焼 炎群(ほむら) tel.0955-73-5368
- 岸岳ふるさと館 tel.0955-64-2033
- 西ノ門館 tel.0955-75-3667
- 泰葉・唐津焼 tel.0955-75-4058

裏面のマップへ。

太間も愛した窯元のまち

# 唐津焼 MAP



### 唐津焼窯元

窯元名	住所	電話(市外局番+0955)	作家名
① 赤水窯	唐津市鏡山4758	77-2061	藤本 千治・象
② あや窯	唐津市柏崎473	77-1471	中里 文子
③ 佳津窯	唐津市原1095-15	77-3175	村上 佳津
④ 川上清美陶房	唐津市半田3073-4	77-3198	川上 清美
⑤ ギャラリー時空	唐津市東城内4-55	74-3315	峰とし子
⑥ 鏡山窯	唐津市鏡山4958	77-2131	井上 東也・公之
⑦ 桂花窯	唐津市長谷50	090-1511-1916	岡崎 桂子
⑧ 幸福陶房瀬菜	唐津市鏡山1235-3	77-1602	北島 晃
⑨ 工房流石	唐津市双水2636-10	74-4833	東原 流石
⑩ 光来窯	唐津市二子2-6-28	73-2303	松本 俊光
⑪ 小杉窯	唐津市和多田用尺8-1	72-7745	小杉 隆治
⑫ 櫻窯	唐津市久里2288	78-1209	清田 正弘
⑬ 佐志山窯	唐津市見備4557	74-2397	西川 一光・一馬
⑭ 三玄窯 中里重利陶房	唐津市神田山口332	72-8664	中里 重利
⑮ 松円寺窯	唐津市菜畑3371-3	72-8010	大石 泰浩
⑯ 唐玄窯	唐津市千々賀2567-1	78-1615	島谷 啓介
⑰ 陶工房 土のいぶき	唐津市宇木1830	090-2397-1677	三輪 廉浩
⑱ 陶中窯	唐津市見備3473-3	73-8997	坂田 勝利
⑲ 東風窯	唐津市竹木場5189-1	74-3320	中村 恵子・高志
⑳ 東里窯	唐津市佐志井原1763-30	75-3901	ボブ岡崎
㉑ 中里太郎右衛門陶房	唐津市町田3-6-29	72-8171	十四代 中里 太郎右衛門
㉒ 中野陶窯	唐津市町田5-9-2	73-8881	中野 一政・正道・政之
㉓ 三藤窯	唐津市宇木2972-6	77-0333	三藤 るい
㉔ Monohanako	唐津市見備4838-20	58-9467	中里 花子
㉕ 楽山窯	唐津市江川町697	74-7305	宮口 輝一郎
㉖ 隆太窯	唐津市見備4333-1	74-3503	中里 隆・大亀
㉗ 龍福寺窯	唐津市和多田西山12-68	090-3417-0224	橋村 あいこ
㉘ 玄々窯	浜玉町東山田3466	56-2606	眞清水 徹
㉙ 健太郎窯	浜玉町横田下1608-2	56-2358	村山 健太郎
㉚ 幸悦窯	浜玉町東山田2034	56-8123	瀬下 悦正
㉛ 官ノ谷窯	浜玉町東山田2207-2	56-7841	外田 重信・剛
㉜ 曹源窯	浜玉町平原甲1064-1	56-2188	小島 直喜
㉝ 天平窯	浜玉町東山田1328-1	56-2061	岡 晋吾
㉞ 陶泉房窯	浜玉町平原甲3390-7	090-4984-9244	田龍 勇人
㉟ 鳥巢窯	浜玉町鳥巢885-1	58-2111	岸田 匡吾
㊱ 中の辻窯	浜玉町横田下668	56-6589	平山 賢治
㊲ 炎群工房	浜玉町東山田1893	56-8681	碓 健
㊳ 山瀬窯	浜玉町山瀬1021-2	56-8280	田中 佐次郎
㊴ 由起子窯	浜玉町東山田800-1	56-8701	土屋 由起子
㊵ 凌雲窯	浜玉町南山3170	56-2025	西岡 良弘
㊶ 陶ぼう空	七山馬川851	58-3143	府川 和泉
㊷ 王天家窯	唐津市山田110-1	63-2304	福田 泰山・和祐
㊸ 唐津屋大兵衛窯	唐津市大杉2280	63-4644	唐津屋大兵衛
㊹ 作礼窯	唐津市平之279	63-4680	岡本 作礼・修一
㊺ 瀬瀬窯	唐津市瀬瀬929-1	090-4517-5561	竹花 正弘
㊻ 伊岐佐窯	相知町伊岐佐6-1	62-3317	秀島 大介・勝又 由香里
㊼ 大谷工房飯洞窯	相知町佐里3391-11	62-2479	梶原 靖元・妙子
㊽ 喜多窯	相知町佐里上1579-14	62-3374	清崎 節生
㊾ 五福房窯	相知町佐里1073	62-4901	吉木 文志
㊿ 坊中窯	相知町牟田町2734-2	090-7391-0605	田中 孝太
1 牟作窯	相知町佐里2961	62-2863	坂本 祐作
2 竜童窯我楽房	相知町桶175	63-4492	藤田 幹哉
3 大杉皿屋窯	北波多大杉856-2	64-2315	大橋 裕
4 冠音窯	北波多竹有2422-1	64-3172	松本 幹治郎
5 岸岳窯三福庵	北波多岸山154	64-2123	富永 祐司
6 北波多窯	北波多成瀬2068-1	64-2263	西川 弘敏
7 三里窯	北波多樽田3111-113	64-3730	浜本 洋好
8 杉谷窯興中庵	北波多樽田2490-2	64-2354	夏秋 隆一
9 鏡山窯	北波多大杉1129-4	64-2830	安永 頼山
10 吾楽陶房	北波多岸山342-1	64-3688	小杉 昌興
11 帆柱窯	北波多岸山375-29	64-2749	中嶋 紀文・陣内 智子
12 龍仁窯	北波多樽田3312-1	51-2188	南森 正仁
13 山茶窯	肥前町万賀里川189-3	53-2687	井上 隆
14 太間三ノ丸窯	鎮西町高瀬2482-1	82-1097	八代 江口 宗山
15 殿山窯	鎮西町名護屋1288	82-4162	矢野 直人
16 土平窯	鎮西町野元1315-3	82-2970	藤ノ木 土平・陽太郎
17 炎向窯	鎮西町名護屋4725	82-6022	戸越 一彦
18 八床窯	鎮西町八床4073-4	080-6411-6955	戸川 武士
19 敬善坊窯	呼子町加部島杉ノ原	080-6410-2319	中里 鉄也
20 玄海窯	玄海町新田1469-27	52-2566	中川 恭平

### 唐津焼 販売店

販売店名	住所	電話(市外局番+0955)	営業時間	定休日
① あみごや	唐津市鏡山6052-1	77-3646	10:00~16:00	不定休
② あや窯展示場	唐津市町田5-7-7	72-5709	10:00~17:00	年末年始・お盆
③ 一番館	唐津市呉服町1807	73-0007	10:30~18:00	元日のみ
④ うつわの店 陶夢	唐津市鏡宇大平6052-1	090-4777-5086	10:00~17:00	不定休
⑤ 大杉皿屋	唐津市呉服町1854-1	73-5249	10:00~18:00	不定休
⑥ 唐津城売店	唐津市東城内8-1	72-5697	9:00~17:00	年末3日間
⑦ 唐津焼総合展示場	唐津市新興町2881-1アルビノ2F	73-4888	9:00~18:00	年末年始
⑧ からつ焼炎群(ほむら)	唐津市組屋町1689	73-5368	9:00~20:00	なし
⑨ 岸岳ふるさと館	唐津市北波多徳須恵1159-1	64-2033	9:00~18:00	年末年始
⑩ 北島陶器	唐津市西寺町490	74-1122	9:00~19:00	第三水曜
⑪ ギャラリー楽	唐津市本町1633	74-2610	11:00~18:00	日曜(企画展中は無休)
⑫ 佐志山窯直売所	唐津市東城内10-9 唐津城下	72-2311	10:00~17:00	不定休
⑬ 松円寺窯直売店	唐津市熊原3122-3	72-8905	9:00~18:00	不定休
⑭ 杉谷窯興中庵	唐津市呉服町1797	72-7330	10:00~18:00	火曜
⑮ 楽家・唐津焼	唐津市平野町16-16-1	75-4058	10:00~19:00	不定休
⑯ 中野陶窯本店	唐津市本町1745	73-0135	なし	なし
⑰ 西ノ門館	唐津市北城内1-8	75-3667	9:00~17:00	月曜(祝祭日の場合は火曜) 年末年始
⑱ のだ陶芸	唐津市刀町1525	72-2447	10:30~19:00	水曜
⑲ 前田陶器	唐津市中町1886	72-2780	9:00~18:00	第三水曜
㉑ 洋々閣ギャラリー	唐津市東唐津2-4-40	72-7181	10:00~18:00	不定休

### 唐津焼の佇まいを味わえる旅館・ホテル

唐津焼 旅館・ホテル一覧	住所	電話(市外局番+0955)	チェックイン/チェックアウト
① 海舟	唐津市東城内2番45号	72-8101	16:00/10:00
② シーサイドホテル	唐津市東唐津4丁目182	75-3300	15:00/11:00
③ 大望閣	唐津市西町名護屋1399	82-1711	15:00/10:00
④ 長崎荘	唐津市西城内6-36	72-2254	16:00/10:00
⑤ 清館 きむら	唐津市東城内4-3	72-4617	16:00/10:00
⑥ 虹の松原ホテル	唐津市東唐津4丁目 虹の松原	73-9111	15:00/10:00
⑦ 松の井旅館	唐津市東唐津2-4-32	72-8131	15:00/10:00
⑧ 水野旅館	唐津市東城内4-50	72-6201	16:00/10:00
⑨ 都荘	唐津市相知町伊岐佐568-2	62-2413	15:00/10:00
⑩ 旅館 大政	唐津市東城内4-46	72-4446	15:00/10:00
⑪ 旅館 錦屋	唐津市大名小路5-10	72-4181	15:00/10:00
⑫ ロイヤルホテル	唐津市東唐津4-9-20	72-0111	15:00/11:00
⑬ 洋々閣	唐津市東唐津2-4-40	72-7181	15:00/10:00